

平成 29 年度 生駒市行政改革推進委員会

第 3 回 会議録

開催日時 平成 29 年 8 月 31 日（木） 午前 9 時 00 分～午前 11 時 00 分

開催場所 生駒市役所 4 階 403・404 会議室

出席者

（委員） 森委員長、松岡副委員長、藤堂委員、南部委員、井上委員、上坂委員

（事務局） 大西総務部長、西田総務課長、飯島総務課課長補佐、  
渡辺総務課行政経営係長、坂東総務課係員

（説明を求めた関係者） 石畑地域活力創生部長、西野市民活動推進センター所長

（傍聴者） なし

欠席者 なし

1 開会

2 案件

（1）後期行動計画の取組状況の確認について

（委員長） 前回会議で委員から質問が出てペンディングとなっている項目があるので、事務局から説明願いたい。

（事務局） まず一つめの広報掲載について、広報広聴課に確認したところ、要綱等明文化されたものはない。市全体としての共通認識で運営している。

市民からの広報掲載依頼については、関係する担当課で受け付け、掲載可否を判断している。

（委員） 広報広聴課が直接受け付けることはあるか。

（事務局） ないと思う。まずは関係する担当課へ。

（事務局） 次に、前回、「(4)市民、NPO など協働のパートナーへの支援」に関して、マイサポいこま事業についての疑義が提示された。

今回、マイサポいこま事業の所管である地域活力創生部長と市民活動推進センター所長が説明者として出席しているので、事業について説明してもらう。

（関係者） （マイサポいこま事業について説明）

（委員長） マイサポいこま事業については今の説明で理解した。

前回の会議で、一部登録団体の経費についての説明を求めたいとの意見が出た。

（委員） 一部の登録団体は事業開始年度から現在まで、連続して支援対象になっている。マイサポいこま審査会の議事録を確認したが、その団体についてあまり論議されていないように見受けられる。

（関係者） 議事録は要旨なので、すべての意見を掲載しているわけではない。当該団体については、

- 例えば平成 28 年度の登録審査の際に意見があり、それは議事録にも掲載されている。
- (委員) 対象経費の食糧費で、「飲食及び親睦に要する費用」は対象外とある。当該団体の事業計画では「軽食を食べながらの交流」とあるが、これは「飲食及び親睦」に当たらないのか。
- (関係者) この事業は、参加者が料理を作り、皆で食べるという内容。料理を作ることでその地方の文化を知り交流することが目的なので、「飲食及び親睦」に当たらないと判断した。
- (委員長) 今後、マイサポいこま事業の制度等見直しも検討していると聞いたが。
- (関係者) 運営や周知面で見直しをしている。今年度は市民向けパンフレットを見やすくした。おかげで過去最高数の届出をいただいた。
- (委員) 地域の祭りについて。最近では対象でなくなったと聞いたが、パンフレットを読むと対象事業にしても良いように思える。
- (関係者) 2016 年度から対象事業ではなくなった。基本的に自治会活動は共益活動に当たるので対象外だが、小学校区程度の広い地域に及ぶ活動に対しては公益活動とみなして対象としていた。その際にも、例えば祭りを通して地域での防災活動を考える、など発展させるよう促していたが、祭りだけに終わってしまったこともあり、対象事業外とした。
- (委員) 団体の予算書を見ると、この補助金を見込んで予算を組んでおり、見込みよりも少額になれば事業縮小などになっている。この補助金を当てにした財政的に独立しない団体運営になってしまい、かえって発展しなくなっているのではないかと思う。同一団体からの申請は何年間に限る、などの見直しが必要では。
- (委員) 同一団体でも、年度ごとに事業内容を変更して発展していけば対象としてよいと思う。
- (委員) 団体が事業を実施する時には、事務局から確認のため見に行っているのか。
- (関係者) 人員の都合により必ずしも全てを確認には行けないが、できるだけ見に行っている。
- (委員) 今回議題となった団体のように、制度当初から連続で登録されている団体数はどのくらいあるのか。
- (関係者) 平成 28 年度までで 6 団体である。
- (関係者) マイサポいこま事業は市民活動団体を補助金で支援する事業であるが、一方で、普段市民活動に関係することがない市民が支援したい事業を選択することで、市民活動への理解や関心を高めることにより、より多くの市民参画を促進する側面も持つ。そのためマイサポいこま事業の周知にかかる経費も含めて予算を作っている。
- (委員長) 今回議題となった団体については、その活動に公益性があるのかが問われている。本制度で登録する団体には「公益性」があることが重要である。一部の市民に限定した活動では公益性があるとは言えず「共益性」になってしまうので注意しなければならない。
- (関係者) 審査会でも公益性は重視しているが、今回いただいた意見を再度審査会で検討する。
- (委員長) 説明も踏まえ評価をどうするか。マイサポ制度自体は制度が未成熟のように思える。
- (副委員長) 制度として改善を求める意見を付して、厳しい評価では。
- (委員) 制度自体は良い制度だと思う。
- (委員) 評価と課題を分けなければいけないのでは。課題ばかり指摘していると評価ができない。
- (委員長) しかし、数値だけでの評価では意味がない。  
制度として改善を求める意見を付して「D」評価でよろしいか。

(各委員) 了承

(5) 市民政策提案制度の効果的な運用

(委員) 提案して採用された施策を実行している点は評価できる。

(委員長) やはり、反映されなければ提案する気が起きない。

ただ、1件しか提案がない。周知不足は否めなく、取組としては不十分。

(委員) 名称が固いのでは。もっと周知方法に工夫が必要。

(委員長) 事業の中味を含め、もっと市民に提案してもらえるような周知方法を考える、という意見を付して「D」評価でよろしいか。

(各委員) 了承

II 経営的視点に基づいた効果的な行政サービスの提供

1 事務事業の継続的な見直し

(6) 総合計画に基づく施策・事業の進行管理

(委員長) 高い評価をされている委員が多いが、この項目は行革として何を評価したらよいかかわからない。

(委員) この項目に対して、住民の満足度を指標にあげているのもわかりにくい。

(委員) 総合計画を策定するにあたって住民の意見を取り入れていることを高く評価したい。

(委員長) 取組み自体の評価としては「C」評価でよいのでは。

(各委員) 了承

2 民間活用の推進

(7) 民間委託の範囲の拡充など民間活力のさらなる活用

(委員長) 新規としては水道事業お客様センターの1件だが、今後の取組みとして更なる市民サービスを目指すとなっており、委託後もサービスの向上を目指している。

(委員) 提案するのは容易だが実現させるのは大変であるという意味で、民間委託導入まで辿り着いたので高い評価にした。

(委員長) 「今後の取組」を見ると、まだ効果を把握できていないという印象を受ける。

(委員) 委託することによって経費の節減になっているのうかがえる。

(委員長) 委託して経費が上がる場合もある。

(事務局) 今回、上下水道部で民間委託したのは窓口など専門性の低い受付業務。例えば工務関係など専門性の高い業務で民間委託すると、担当部署において知識、技術などの伝承が滞ってしまい、結果として職員の能力が低下するため、全てを民間委託することは後々問題が出てくると考える。委託業務内容をチェックするには、やはり知識、技術などが必要だから。

今後は、業種等を精査して民間委託を進めていくことになると思う。

(委員長) 評価として、目標を達成できたということで「B」評価でよろしいか。

(各委員) 了承

(8) 指定管理者制度の効果的運用

(委員長) 委員の皆さん高い評価をされているが。

(委員) 以前発生した、生駒山麓公園指定管理者についての問題は怎么样了か。

(事務局) 問題発生後、適切に対応し改善している。

(委員長) 問題が発生しても適切に対応している。高い評価で良いと考えられるので「A」評価でよろしいか。

(各委員) 了承

3 行政資源の有効活用・効率的な管理運営

(9) 既存公共施設等の活用と長寿命化に向けた中長期的な計画策定

(委員長) 取組みとしてはたくさん取組みをされている。実績も多い。

(委員) 目標値が低すぎるのではないか。

(事務局) 平成 27 年度の実績では目標値 78 件に対し実績値が 5 件だった。その積み残しが平成 28 年度の実績に上乘せされたため、このような数字となっている。

(委員長) 取組状況も順調に進捗しているので「A」評価でよろしいか。

(各委員) 了承

(10) 広域連携を活用した事業等による市民サービスの向上

(委員長) 今回は消防ばかりであるが、これも委員の皆さん高い評価をされている。取組みとしてはたくさん取組みをされている。

(委員) 今回は消防での広域連携だが、他に広域連携をする可能性は。

(事務局) 今のところない。

広域連携は、連携することでスケールメリットを得られることから財政力が弱い自治体間で実施されることが多い。県内では、生駒市と奈良市以外の全市町村で「奈良県広域消防組合」が設置されている。

生駒市の場合、比較的財政力が高いので、連携すると持出しが多くなる場合が多いと考えられる。

(委員長) 評価として、目標値以上に達成できたということで「A」評価でよろしいか。

(各委員) 了承

(2) その他

(事務局) 次回会議(第4回)は9月4日(月)9:00から、次々回(第5回)は10月25日(水)9:00から開催予定。

3 閉会